

稲門会を通してあなたの人生にもう一味を！

浮ヶ谷秀樹（昭和45年 文学部卒）

平成23年 6月

この度、藤田前会長より“会長のタスキ”を引き継ぐことになりました。伝統ある習志野稲門会は、来年には設立25周年を迎えることとなります。設立以来、多くの諸先輩方の努力により、“会長のタスキ”は受け継がれてきました。次の方に“会長のタスキ”を渡すまでの間、習志野稲門会とその会員の皆様のために、微力ではありますがお役にたてればとお引き受けいたしました。諸先輩からのアドバイスと皆様からのご理解・ご協力をいただきながら、やっていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

習志野稲門会の目的として、「会員相互の親睦」「地域社会への貢献」「母校早稲田大学への貢献」の3つがあげられています。

具体的な活動としては、稲門会全体としての「公式行事」と同好の仲間の集まりである「部会活動」に分けられます。

「公式行事」には、最大かつ最も重要な「総会」の他に、「花見・バーベキュー大会」「ファミリー・キス釣り大会」「親善ゴルフ大会」「親睦旅行」「餅つき・忘年会」「新年会」等があります。

「部会活動」は趣味の領域からボランティアの領域に至るまで、10の部会（そば打ち、囲碁、野菜づくり、ゴルフ、ウォーキング、カラオケ、テニス、麻雀、釣り、ボランティア）で延べ150名の会員が活動中です。この「部会活動」が「会員相互の親睦」に大きく寄与し、そこで培われた連帯感や目的意識が、「地域社会への貢献」「母校早稲田大学への貢献」への大きなエネルギー源となっています。

「地域社会への貢献」では、毎年、習志野市内の福祉・教育関係施設へ物品の寄贈を続けてきています。ここ数年では、AV機器・樽太鼓・カラクリ時計等

を寄贈してきています。また、市内の3施設に、そば打ち道具一式計13セットを寄贈し、市民が結成した「そば打ちサークル」に対して、「そば部会」の会員が定期的に指導をしてきています。更に今年からは、「ボランティア部会」が中心となって、各種ボランティア活動を展開することになっています。

「母校早稲田大学への貢献」では、母校の記念行事の際の寄付にその都度協力してきたほか、「WASEDA サポーターズ倶楽部」の団体会員として毎年寄付を続け、また、稲門祭記念品購入による奨学金原資の確保にも協力してきています。

会員個人の視点からすれば、校友会年会費（5千円）、習志野稲門会年会費（3千円）を納入し、「公式行事」や「部会活動」の他、校友会本部や千葉県支部の行事に参加する等の具体的な行動が、「会員相互の親睦」「地域社会への貢献」「母校早稲田大学への貢献」の3つの目的につながってきます。「地域社会への貢献」

「母校早稲田大学への貢献」の部分が直接的に見えにくい方もおられることと思いますが、校友会費の半分は奨学金となり、稲門祭記念品を購入していただいた場合の収益も奨学金となります。また、稲門会年会費や各種行事での余剰金は、地域社会や大学への寄付の原資として使われます。

会社を定年退職したり、自営業を引退したりすることによって、会社・仕事関係の組織・集団から離れた人の中には、今までとは別の場所で「自分の心の置き所を得たい。」とか「自分の存在感を得たい。」という気持を持たれている人もおられると思います。もちろん、家庭・ファミリーが第一ということは言うまでもありませんが、稲門会の活動を通してそのような気持が満たされるということであれば素晴らしいことです。「人は己の存在証明を求めて生きる。」と言う人もいます。「旧交を温める」「好きなことをして楽しむ」から、「存在感を感じる」「やりがい・生き甲斐を感じる」というところまで、稲門会活動が広く深く進化していったら素晴らしいことです。

シニアの人にとっては残された人生に一味の彩りをつけ、現役の人にとって

は会社や仕事から離れた利害関係のない場で、生活に一味の彩りをつけるという意味で、この習志野稲門会を大いに利用していただきたいと願っています。稲門会をスパイス代わりに利用していただければと思います。年会費を納入して校友会・稲門会に入会していただいたからには、まずは自分自身のために積極的に利用していただき、それなりの“リターン（満足感・充実感）”を得ていただきたいと願っています。「会員相互の親睦」の段階の満足感・充実感から、やがては「地域社会への貢献」「母校早稲田大学への貢献」の段階の満足感・充実感へつながっていくものと考えております。

校友会の千葉県支部内で活性度の高さでは有数の習志野稲門会も、いくつかの課題を抱えています。日本の社会と同じように年々高齢化の方向に進んでいます。また、女性会員の増加が望まれています。新会員の募集が重要課題となっています。習志野市内には約1500名の校友がおられますが、稲門会会員はそのうちの約10%です。毎年数名の新会員が入会されていますが、まだまだ不十分です。更に多くの方に入会していただきたいと考えています。

この課題のための具体策につきましては、幹事会でいろいろ立案・実施していますが、会員の皆様の一層のご協力を必要としています。

また、シニアの方、現役の方、女性の方、多彩な経験をお持ちの方、その道一筋の方、一芸に秀出た方、何でもこなす器用な方、趣味仲間を探している方、地域との関わりの場を探している方、母校との関わりの場を探している方、自分の居場所を探している方、自分発見の旅の途中にある方等、会員以外の方でこのホームページをご覧になった方は、習志野稲門会への入会をぜひご検討下さい。そして一歩踏み出してみてください。道はあります。

習志野稲門会会員の皆様と、これから会員になっていただける早稲田大学校友の皆様へのお願いを兼ねて、会長就任の挨拶とさせていただきます。

